

議長に 齋藤 邦彦 議員 副議長に 神保 稔 議員

8月28日に開催した平成29年第1回臨時会において、議長に齋藤邦彦議員、副議長に神保稔議員を選出しました。

議長、副議長はともに投票となり、議長選は、齋藤邦彦議員7票、渡辺知広議員4票。副議長選は、神保稔議員8票、無効票3票の獲得でした。

また、常任委員会などの構成も改選され、新たな体制でスタートしました。



議長あいさつ
齋藤 邦彦

このたび議員各位のご支持を得まして、議長を務めさせていただくことになりました。誠に名誉なことであり、責任の重さに身が引き締まる思いであります。引き続き、議員各位、副議長、常任委員長、議会運営委員長と協議を重ね、合議のうえで進むことが、町議会のさらなる発展につながるものと考えております。

今、町では第5次総合計画を鋭意策定中であり、町の将来展望を決める重要な時期を迎えております。

他の市町村と比べ人口減少率が少ない町ではありますが、今後ますます発展するためにも、町民目線に立つた信頼される議会を目指し、町当局とは日々で討論をし、発展的な意見の交換ができる議会として、町民一人一人が安心して暮らせる町づくりを目指してまいります。



副議長あいさつ
神保 稔

議長を補佐する重責を肝に銘じながら精進し全力で取り組んでまいります。

昨今の人口減少対策、少子高齢化対策、農業・工業・商業の振興対策、交通インフラ整備、自然災害への対応、安心・安全に定住できる環境づくり、若者に配慮した環境づくりなど喫緊の課題に向き合い、皆さまの声に耳を傾けながら「住みやすい、暮らしやすい、そして住んでよかった山辺町」の実現のために、町当局と活発な議論を交わし、皆さまの生活と福祉の向上などの一助になるよう努めてまいります。

議会としてのチェック機能を果たすとともに議会の活性化と資質の向上のため日々研鑽を積みながら、町当局と十分連携・協力を図り、各般にわたる政策提案・提言を申し上げ「身近な・開かれた議会」を目指してまいります。

町民目線に立った信頼される議会を目指して

議会を目指して

わたしたちは行動します！ ～希望ある未来をつくるため～

各委員会等の構成が変わりました



総務文教常任委員会



厚生産業常任委員会



各委員会等の構成

◎委員長
○副委員長

◆総務文教常任委員会

◎武田啓一郎 ○渡邊 裕二
齊藤 昭彦 渡辺 知広
遠藤真由美 齋藤 邦彦

◆厚生産業常任委員会

◎樋口 和男 ○安達 春彦
本田四志子 鍋倉 竹志
神保 稔

◆広報常任委員会

◎遠藤真由美 ○本田四志子
齊藤 昭彦 神保 稔
渡邊 裕二 安達 春彦

◆議会運営委員会

◎渡邊 裕二 ○安達 春彦
樋口 和男 武田啓一郎
遠藤真由美 神保 稔

◆国道458号改良促進特別委員会

◎鍋倉 竹志 ○武田啓一郎
本田四志子 齊藤 昭彦
渡辺 知広 神保 稔
安達 春彦

◆最上川中部水道企業団議会議員

鍋倉 竹志 武田啓一郎
渡邊 裕二

◆山形広域環境事務組合議会議員

齊藤 昭彦 遠藤真由美
山辺町監査委員(議選)
安達 春彦

◆山辺町振興審議会委員

樋口 和男 武田啓一郎
神保 稔 安達 春彦
齋藤 邦彦(学識)

◆山辺町都市計画審議会委員

齊藤 昭彦 渡辺 知広
鍋倉 竹志 渡邊 裕二

◆山辺町土地開発公社

理事 樋口 和男 齊藤 昭彦
渡辺 知広

◆山辺町社会教育委員

監事 本田四志子
理事 武田啓一郎 安達 春彦
遠藤真由美

◆ふるさと資料館運営委員会委員

樋口 和男 渡邊 裕二

◆国民健康保険運営協議会委員

樋口 和男 渡邊 裕二

◆介護保険運営協議会委員

鍋倉 竹志 神保 稔

◆地域包括支援センター運営協議会委員

齋藤 邦彦

◆山辺温泉保養センター運営委員会委員

本田四志子

◆民生委員推薦委員会委員

齋藤 邦彦 樋口 和男

◆山辺町観光協会

副会長 齋藤 邦彦
理事 神保 稔

町民の声を反映!

平成28年度 一般会計・特別会計総額

より暮らしやすい

96億1613万円

認定

9月
定例会
9/6~9/15

まちづくりの一步

決算の認定

豊かで活力のある産業のまち



村山盆地が一望できるビュースポット

観光振興

793万円

(鳥海山山頂ビュースポット再生関連工事・業務委託)

美しくすみやすい 安心安全なまちづくり



防犯灯 LED 化

町の安全
安心対策 368万円
(防犯灯 LED 化推進)



健やかでやすらぎのある 助け合いのまちづくり



健やかに育て! (やまべ幼稚園敬老会にて)

健康な暮らしの推進

6022万円

(予防事業、母子保健事業、すこやか推進事業)



平成 28 年度 主な 重点事業

人にやさしい 循環型のまちづくり



エネルギー回収施設(立谷川)10月から本格稼働

ごみ処理負担の公平性と軽減

1億120万円

(山形広域環境事務組合事業)



人と心と文化を 育むまちづくり

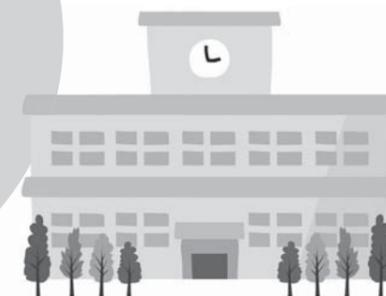


トイレが完備されたクラブハウス

山辺中学校改築事業完了

9757万円

(クラブハウスの建築・外周整備工事)



監査委員報告



渡邊俊博代表監査委員

平成 28 年度決算について、詳細に審査した結果、総体的に法令、条例及び規則に準拠し処理されており、予算の執行も適正であると認める。

なお、次の3点の事項について、今後一層努力されることを望む。

1. 予算に対して高額な不用額が多く見受けられるため、早い段階で精査し、減額補正を行うなど、適正な財政運営を図られるよう改善されたい。
2. 各種事業や団体に対する補助金について、長期にわたり恒常的に交付をしていないか、事業実績や繰越額など十分精査し、見直しを含め検証されたい。
3. 職員の時間外勤務については、全体的に減少しているものの、職員の健診結果から「異常なし」の割合が減っていることから、労務管理の面からも何らかの対応を望みたい。

定例会のあらまし
平成29年第3回定例会が、9月6日から15日までの10日間の日程で開催され、5人の議員が一般質問を行いました。また決算特別委員会を設置し、平成28年度一般会計・特別会計歳入歳出決算について審査しました。

町民の暮らし向上に どのように活かされたか!

チェック

決算特別委員会

Q&A

9月8日、議長を除く全議員が所属する決算特別委員会が設置され、委員長に武田啓一郎議員、副委員長に安達春彦議員を選出しました。11日、12日は、第1分科会（総務文教関係）、13日、14日には第2分科会（厚生産業関係）の審査をして、15日の本会議にて全会一致で認定しました。

総務文教

第1分科会

総務課・防災対策課・税務課・会計課・政策推進課
教育委員会教育課・議会事務局

Q 職員研修について必要な基礎知識以上に自らのスキルアップを図るために受講するよう取り組みは。

A 研修の情報はその都度、職員に知らせている。数年に一度は何らかの研修を受講するようになっている。（総務課）

Q 作谷沢支所も避難所としての指定を考慮すれば、太陽光発電は必要ではないか。

A 今後、対応の出来る補助金で考えていく。（総務課）

Q 現在、10回線で受けているが、これまで町民の方からの苦情はない。（防災対策課）

A 避難用備蓄品の内訳についての確認は。

Q 防災放送を確認できる電話に集中し話中のコールにならないのか。

A 備蓄品については随時確認、見直しをしている。飲料水は、水道企業団でタンクを用意している。（防災対策課）

Q 総務省からの通知により返礼品の額を3割程度まで抑えることになる。見直しにあたっては内容を検討し、登録業者にも説明していく。（政策推進課）

A ふるさと応援基金の返礼品の見直しは。

Q 特に、山辺温泉のアクセス数が増えている。（政策推進課）

A 経年劣化による体育施設の改修計画は。

Q 施設修繕の10カ年計画を立てて整備をしていく。（教育委員会教育課）

Q 町民プールのろ過装置は24時間稼働できないのか。

A 一般用プールは音が大きく難しいが、幼児用プールは夜間の試運転で騒音はなかったため、今後も継続していく。（教育委員会教育課）



28年度に設置された中支所の太陽光パネル

厚生産業

第2分科会

町民生活課・保健福祉課・産業課
農業委員会・建設課

Q 28年度の実施状況は。29年度からは地区単位で実施することになったが、地区により温度差があるため実態調査を。

A 町などが主催した地区の参加率は17%だった。開催について苦慮している地区については丁寧に対応していく。（保健福祉課）

みは。

Q 技能五輪開催、山辺温泉、ラベンダー祭り、ひな人形展などで57万1千人の来町者があった。今後さらなる各種イベントを通して、交流人口を増やしていく。（産業課）

Q 中山間地の合併浄化槽の新設状況は。

A 28年度は3件の希望があったが実施に至らなかった。現在は若い世代の同居などにより2件の希望がある。（建設課）

Q 都市公園などの維持管理は。

A 地域の方々から協力を得ているが手の回らない支障などは町で対処する。（建設課）



心もからだもあつたまる山辺温泉

Q 山辺産農産物のブランド向上対策は。

A ブランド向上のパッケージなど、制作にかかる補助金を予算化した申請はなかったため、今後も周知していく。（産業課）

Q 観光事業の効果や今後の取り組み



地域で管理している都市公園

Q 町営バス（デマンドバス）の利用状況は。

A 平成28年度は14895人で27年度より1398人減である。常時利用者の減と分析している。（町民生活課）

Q 山辺温泉保養センターの利用状況ならびに営業時間の見直しは。

A 平成28年度は31万1527人の利用者があったが、27年度より3・8%減少となった。近隣の類似施設も減少しており、今後は営業時間なども含め、利用者増に向けて指定管理者と協議していく。（町民生活課）



幼児用プールろ過装置

決算特別委員会

条例、補正予算、人事案件などを 平成29年度 一般会計補正予算 **8214** 万円を追加

それぞれ **可決・同意** 総額 **52** 億 **7066** 万円

主な補正予算の内容

小学校管理事業



子どもたちの安全のために

135 万円の増額

小学校に電気錠の設置とネットワークカメラ設置工事費など

芸術文化・民俗芸能 振興事業



全日本おかあさんコーラス全国大会（岡山）

50 万円の増額

やまのべ女声合唱団全国大会出場補助金

山辺温泉保養センター運営事業

234 万円の増額

水道管の漏水に伴う入替工事費



安心して利用していただくために

除雪管理・除雪機械整備事業

5508 万円の増額

除雪体制の充実と除雪機械購入費など



定評のある山辺町の除雪

人事案件

○教育委員任命の同意

委員の任期満了に伴い、齋藤優子氏（大門）を同意。

○監査委員選任の同意

議会選出監査委員の辞任により、安達春彦議員（緑ヶ丘）を同意。

○最上川中部水道企業団議会議員の選挙

企業団議会議員の辞職に伴い、鍋倉竹志・武田啓一郎・渡邊裕二の各議員を選任。

○山形広域環境事務組合議会議員の選挙

組合議会議員の辞職に伴い、斉藤昭彦・遠藤真由美の各議員を選任。

特別会計補正予算

会計名	理由	本年度予算額
国民健康保険特別会計	国庫補助金の確定、交付金の見込み及び平成28年度繰越金の確定により各事業間の調整を図り、総額は当初予算と同じ	総額 17億3701万2千円
簡易水道特別会計	平成28年度繰越金の確定と大蔵簡易水道の導水ポンプ1基が経年劣化で故障し、安定した水道供給を図るために更新工事費など歳入歳出それぞれ156万6千円追加	総額 1867万8千円
介護保険特別会計	平成28年度繰越金の確定と給付費の確定により歳入歳出それぞれ4370万1千円を追加	総額 16億1649万2千円
後期高齢者医療特別会計	平成28年度繰越金の確定と保険料納付金の確定により、歳入歳出それぞれ1415万2千円を追加	総額 1億6582万7千円

第3回定例会において、条例の改正等2議案、一般会計及び特別会計補正予算5議案、人事案件4議案を審議し、いずれも原案どおり全会一致にて可決、同意しました。また平成28年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について報告されました。

条例の一部改正等

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

いじめ防止対策の推進条例の制定に伴い、対策連絡協議会委員及び専門委員会委員等の報酬を明文化。

作谷沢辺地総合整備計画の一部変更

除雪機械の整備を図るために総合計画の一部変更。

報告事項

平成28年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率

○実質赤字比率・連結実質赤字比率＜実質赤字なし

○実質公債費比率＜9・8%

H27 H26
10・3% 11・2%

○将来負担比率＜80・1%

H27 H26
74・1% 80・8%

○資金不足比率＜町では下水道・簡易水道事業が対象ですが、資金不足額（赤字額）はなし。

空き家対策

空き家の現状と利活用、今後の対策は

(町長) 官民連携のもと利活用を促進し、地域の活性化につなげていく



遠藤真由美

質問 平成26年11月に通称「空き家対策特別措置法」が制定され、平成27年5月に全面施行となった。この措置法での「空き家の所在把握」「データベースの整備」について進捗状況は。

答弁 昨年度、固定資産税基本台帳のデータなどから、空き家と考えられる家屋を抽出し、所有者へのアンケートや現地調査を行ったところ、町内の空き家は279棟と推定される。調査した家屋は、「空き家管理システム」を導入しデータベース化している。空き家1棟ごとにパソコンの航空

質問 写真上に表示し、現地調査やアンケート内容、写真などの情報を地図上で管理できる。この数字には空き店舗も含まれる。

答弁 写真や現地調査、写真などの情報を地図上で管理できる。この数字には空き店舗も含まれる。



官民連携で空き家対策

質問 この度、町は不動産協会県本部

答弁 あくまでも参考だが、今回現地調査での外観評価により、評価点数が高く特定空き家になる可能性が高いと思われる家屋も含まれていると考えられる。「特定空き家」かどうかは、特別措置法第7条で規定の協議会を組織し、その中で市町村長の判断となる。協議会はこれから組織化に向けて検討する。

当しそうな空き家はあ

県宅地建物取引業協会と「空き家バンク」の仲介に関する連携協定を締結した。より円滑な交渉ができる環境となったが、酒田市では「酒田市空き家等ネットワーク協議会」を設立し、建設業者に空き家の解体、司法書士に相続や権利関係の手続き、金融業者には解体などの融資の相談にも

答弁 今後協議会を組織していく上で、そういう話になっていくと思う。国土交通省が設立した「全国空き家対策推進協議会」への参加は、検討している。



増え続ける空き家の利活用を！

一般質問は、議員が町の事務執行状況や将来の政策指針など問い、適切に町政運営を進めているかチェックするものです。年4回の定例会で議員が一般質問を行います。

町政の一般質問 ここはどうする？



傍聴しませんか 次回の定例会は12月(ニット議会)です。お気軽にお越しください。☎023-667-1117(議会事務局)

9月の定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

遠藤真由美 **空き家対策** 空き家の現状と利活用、今後の対策は

武田啓一郎 **道路整備** 将来のアクセス道路計画
やまのべ振興発展の3大課題

安達 春彦 **産業発展** 山辺町の産業発展にむけた取り組みは

本田四志子 **高齢者支援** 高齢者の生きがいづくりで笑顔いっぱいの町に

神保 稔 **空き家対策** 空き家の利活用に向けた取り組みは

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

産業発展

山辺町の産業発展に むけた取り組みは

(町長) 多様な事業の実施により産業発展を図りたい

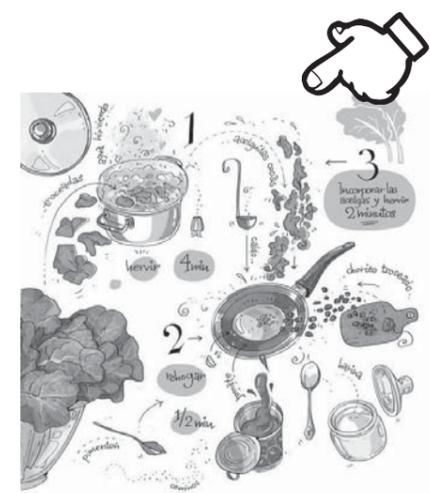


安達 春彦

質問 総合戦略では「直接生産物」製品を購入できる場所をより充実させる「高校・大学などの連携した商品開発」「質の良さをわかりやすく示す売り出し方の検討」と方針を掲げているが、現時点で実行出来たことや今後の課題はどのようなに考えているのか。

回答 第一に、首都圏などの大都市で行われた「伝統繊維産業の展示商談会」でのPR活動、やまがた技能五輪の併催イベント「食と技のWANSACKA祭(わんさかまつり) in やまのべ」の開催がある。また、町内ニット企業の新作ニットを展示PRする「いつでもニットセレクション」を実施し、そのロゴデザインを東北芸術工科大学の学生に制作いただいた。第二に、海外で開催された展示商談会への出展支援や商談時の通訳者の確保などを行うことで、新たな市場開拓への後押しをした。第三に、

繊維産業を含む商工業や農産物、名所・史跡など町の主要産業の情報を網羅した、ものづくり・観光冊子「やまのべPRIDE」の発行。今後は各社が独自性を発揮しながら自主的に取り組みを継続することが課題。



山辺独自の商品を全力でブランド化させる

質問 昨年9月にストローク現象について一般質問したが、あらためてそれ以降取り組まれた交流人口を増やす施策や改善された取り組みと、今後の町の考えは。

回答 町の農産物である「りんご」「ラフランス」「さくらんぼ」を活用した、かき氷の果実ソース開発と新たな名物かき氷「やまのべご当地かき氷」の販売が実現化。今後は、今回の取り組み状況や販売実績等を検証し来シーズン以降の取り組みに反映させ改善していく。

質問 今年の3月には「雛マルシェ」をふるさと交流センター「あがりっしやい」で開催。7月には地方創生推進交付金事業を活用した「くうのむあそ部フェスタ」と「駅前夜市」事業の同時開催など街なかの賑わいを創出するイベントの開催支援にも取り組んだ。それ以外にも、「プレミアム付共通商品券」事業や「やまのべ・まるごとフェスティバル」なども実施。これら多様な事業の実施により町内の多くの産業に効果波及させて山辺町の

回答 強みとしては、総合戦略で描いている伝統繊維産業、果実が挙げられ、弱みとしてはPR不足がある。議員をはじめ、町民の皆さんが自信を持ってPRできるようにしたい。



イベントを通じ交流人口を増やす

道路整備

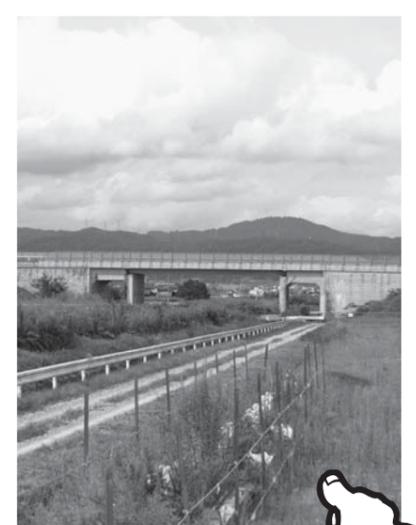
将来のアクセス道路計画 やまのべ振興発展の3大課題

(町長) 国道458号のバイパス化、早期着手を強く要望



武田啓一郎

質問 東北中央自動車道の福島―米沢間が開通する。県内陸部の道路整備計画において、山辺町の道路アクセスの位置付けとして、新たな計画課題を示していくべきではないか。



東北中央自動車道の吉野宿地内にスマートICが出来れば...

回答 山形中央ICを山辺町への玄関としている。山形市吉野宿地内にスマートICを設置とのことだが、山形中央ICとおおよ

希望の持てる高い目標、若い世代に引き継いでもらえる構想を示していくべきではないか。

質問 国道458号大寺地内と大塚地内による早期バイパス化による内陸西部、出羽三山古道の復権による歴史の街道の再興、産業経済活動創生、交流人口拡大をはかるべき。道路や橋、トンネルの

回答 計画構想の実現は、10年〜20年に及ばず、半世紀を越えることすら常とも言われている。構想を掲げ目指さなければ実現しない。高い目、低い目、目標を高く掲げ、人口減少化と地域間競争の中、山辺地域の歴史的存続継承をかけ、町はいま、町民、町議会、地元選出県議会議員、国会議員の方々の賛意合意を得ながら取り組んでいくべきではないか。



国道458号大寺バイパスは大寺小学校北に結びつく...早期着手を

質問 道路網の整備により、交流人口を拡大し、地域の活性化に結び付けられるよう、今後も道路整備計画の実現に向け、地元選出県議会議員をはじめ、国、県などの関係機関への効果的な要望活動に取り組んでいく。

としては、県に対して道路整備の重要要望として、国道458号のバイパス化となる都市計画道山辺中山線の早期着手を強く要望している。

※① IC (インターチェンジ) 高速道路と一般道路の立体交差式の出入り口
※② ETC 高速道路料金の、自動料金収受システム

一般質問

空き家対策

空き家利活用に向けた取り組みは

(町長) 町内に279棟の空き家が推定
「空き家等対策計画」策定に向けて検討



神保 稔

質問 空き家所有者に対し指導、勧告、修繕命令などを行ったことは。

答弁 防災・安全上から情報把握に努めるなどの継続的な確認作業を実施していきたい。

質問 今後も調査などを実施していくのか。

答弁 山辺地区117棟、大寺地区30棟、相模地区18棟、近江地区9棟、中地区52棟、作谷沢地区53棟となっている。

質問 空き家推定279棟の地区別は。

答弁 現在のところ法に基づいた行為の事例はないが、住民からの相談や通報により、現地確認や所有者調査を実施し、所有者や管理者に対し適正な管理を呼びかける文書の送付や接触しての依頼などの対応を行っている。



住まなくても維持管理されている空き家



質問 特別措置法に関する「空き家等対策計画」の策定は。

答弁 策定には、基本的な方針や計画期間、適切な管理の促進などの事項を掲げながら、特定空き家対策

質問 空き家相談、苦情の窓口を一本化できないか。

答弁 これまで関係各課連携しながら対応してきたが、29年度より防災対策課が総合窓口として行っている。

質問 特別措置法に基づき実施できることから、現時点では条例化する必要があると考えている。

答弁 特別措置法に基づき実施できることから、現時点では条例化する必要があると考えている。

質問 空き家条例の創設は。

を含め管理不全空き家の利活用など、分野横断的な施策や専門的な見地での判断など必要なことから、地域住民や法務、建築などに関する学識経験者で構成する対策協議会の設立などを検討している。



放置期間が長引いた中山間の空き地

一般質問

高齢者支援

高齢者の生きがいづくりで笑顔いっぱいの町に

(町長) 高齢者の住み慣れた住まいで尊厳ある自立した生活が送れるように取り組んでいく



本田四志子

質問 今後の高齢者の生きがいづくりについて、町ではどのように進めようとしているのか。

答弁 高齢者が住み慣れた住まいで、尊厳ある自立した生活を送ることができるように取り組んでいる。具体的には保健福祉センターで、60代〜70代を中心に水中運動などの健康教室を開催し、約280名が参加している。

また、各公民館においても介護予防を目的とした「いきいき教室」など様々な教室に、決まった曜日と時間に参加することで生活リズム



いつも笑顔で「ピンとシャン教室」



ムができ暮らしに張りが出、参加者同士のコミュニケーション・仲間づくりが繋がりが活き活きとされている。またパークゴルフやランドゴルフの愛好者も多く、元気な方々が大勢いる。町では、新たに高齢

質問 祖父母学級を孫のいない高齢者にも呼びかけ、地域で多くの方と触れ合う機会を作ってはどうか。

者になられる方、参加の機会がなかった方のように事業につなげていくかが課題となっており、生きがいづくりを進めるため、地域に入り自主的な取り組みをコーディネートする「生活支援コーディネーター」の配置を検討している。

質問 高齢者の運転免許返納者について、公平にすべての高齢者にコミュニティバスの無料乗車券と温泉バス券を終身まで交付できないか。

答弁 町内の小中学校全校において実施しており、生徒たちの活動や様子を見て交流するなど学校だけでなく呼びかけている。



助かります！コミュニティバスを利用する高齢者

質問 高齢者の運転免許返納者だけでなく、公平にすべての高齢者にコミュニティバスの無料乗車券と温泉バス券を終身まで交付できないか。

質問 運転免許返納の申請の際、写真添付のいない簡単な手続きを。

答弁 厳しい財政状況と増え続ける高齢者人口を考慮し、介護予防教室、インフルエンザ予防接種助成な

答弁 町では、他町村よりも早い時期に免許返納者への対応を行っており、写真の添付については、本人確認のためにお願いしている。

質問 空き家の増加による有害鳥獣対策は。

答弁 特別措置法では、「空き家等」の所有者等は周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう適切な管理に努めるものと規定されており、所有者自ら適切に管理することが原則となっている。人畜並びに収穫物への被害が懸念されるため、地域の方々からの情報提供と所有者などからの理解と協力を得ながら事故の未然防止に努めていく。

新しい町への挑戦

教育環境整備 タブレット導入



グローバル化に向けたタブレット学習

教育関連施設の視察を7月11日に行いました。学校給食センターでは平成30年度から調理部門が委託されることから、教育課長ほか担当職員から現状について説明を受けました。委託にあたってはこれまで通り、安心安全な給食の提供を

要望しました。また、相模小5年生の授業では、ICT支援員の指導で、タブレットを使った理科の実験を行いました。グローバル化が進む中、タブレットを大いに活用し、世界に羽ばたく人材育成につなげて欲しいと思います。

総務文教常任委員会

「須賀川市藤沼ダム」の復興状況を調査 総務文教常任委員会・厚生産業常任委員会

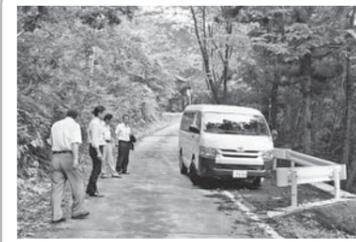
東日本大震災から7年後にあたる本年6月28日、福島県須賀川市の藤沼ダム工事完成後の現況と危機管理対策などの復興状況を調査してきました。藤沼ダムは、丘陵地帯にあるため池で震災により堤防が決壊し、下流地域を鉄砲水が襲い、7人が死亡、1人がまだ行方不明、また水田にも甚大な被害が発生した場所。2年前は復旧作業中でしたが、ダム周辺は一変した素晴らしい自然公園となり、7年ぶりに水の供給が再開され、湖面には豊かな水が蓄えられていました。

当町にも多くのため池があります。近年の異常気象による災害を考えると、警戒と危機管理対策を講じていくことが急務であり、ます。議会として、町と共に、危険箇所の把握に努めるなど、安全で災害に強い町づくりをさらに進めていくことを認識しました。



豊かな水が蓄えられた藤沼ダム

鳥海山山頂ビュースポット 整備調査 厚生産業常任委員会



整備された待避所

鳥海山山頂周辺の立木伐採、駐車場と4カ所の待避所などについて整備を終えたことから、8月22日、現地の整備状況を視察しました。山頂上まで、車で登れるところや、山頂からの展望がすばらしいことなど、山頂の新たな観光地として、ぜひ皆で発信していきたいと思えます。

また、今年度は小鳥海農村公園の長寿命化による整備が予定されており、

これからの観光地域づくりを学ぶ 村山地方町村議会議長会議員合同研修会

村山地方の7町の議員が一堂に会する議員研修会が、9月27日に山辺町を会場に開催され、議員全員が参加しました。研修では、「これからの観光地域づくり戦略」を演題に、大正大学地域構想研究所教授の清水慎一氏から「講演いただき、観光からの地域活性化について学びました。講師からは『観光地』をつくるのではなく、『観光地域づくり』を目指していくことが重要である。それには、地域の将来を見据えて持続的に取り組む民間人材が不可欠であり、それを組織化すること、地域活性化にもつながっていく」との話があり、大変参考になる研修会でした。



観光からの地域活性化を学ぶ

第4回 出前議会

気軽に議員に 聞いてみよう！

- 開催日 7月9日(日)
出前先 やまのべ女性の会 (会員21名出席)
- 出席議員 鍋倉 竹志・武田啓一郎
齊藤 昭彦・渡辺 知広
樋口 和男・神保 稔
渡邊 裕二・安達 春彦
遠藤真由美

やまのべ女性の会は、毎年夏に研修会を行っており、今回は会場の中山町ゆららに議員が伺いました。参加者と議員が3つのグループに分かれ、意見をお聞きしました。

○緑ヶ丘コミセンに高校生が勉強できる部屋が欲しい

○イベントにはたくさんの方の町民に協力してもらえよう声かけとPRを

○中央公民館2階の幼児が遊ぶ部屋には、今や常識の空気清浄機を

○川を挟んだ山形側には工業団地があるのになぜ山辺は進まないのか

ほかに、全体では玉虫周辺の活用や、ブロック協議会のあり方など、通常の議会で話される話題も女性の視点でより生活に密着した内容になったのが印象的でした。



女性目線で語り合う「町の未来」

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 第4回ビッグウイングフェスティバル	山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング)	11月18日(土)～19日(日) 10時から16時	「食」をテーマとした「村山広域7市7町うまいものフェア」を開催します。また、同会場において、「山形市伝統的工芸品まつり」と「みちのくこけしまつり」が併催されます。	山形ビッグウイング TEL 023-635-3100
上市市 上山城元旦登城	上山城	平成30年1月1日(月) 元日 7時～16時	新年の幕開けに、上山城の天守閣で三吉山からの初日の出を拝み、三吉のパワーをもらいましょう。先着300名にプレゼント進呈。	上山城郷土資料館 TEL 023-773-3660



町の災害情報メールにご登録ください。

緊急時に町からのお知らせが届きます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)
電話でも内容が確認できます ☎ 023-629-0011

傍聴しませんか 次回の定例会は12月です。お気軽にどうぞ。☎023-667-1117(議会事務局)

お願い 議会だより取材のため、議員が撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。